

2019 年度～2023 年度の中期目標・中期計画

<p>A. 教育の質保証</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指定規則改正後の教育内容について、卒業時到達度を最低限保証する項目・内容の精選と普及を図る。 2. 指定規則改正後の保健師教育の内容充実を図る。 3. 看護師教育課程において地域包括ケアを含む地域看護学教育を推進する。 4. 保健師教育課程を看護師教育課程に上乘せすることをさらに推進する。 5. 指定規則改正後の保健師教育課程の質を保証する評価基準により、会員校が自校の教育課程を評価することを支援する。 6. 継続して教育体制のモニタリングを行う。 <p><数値目標> 本法人が定める評価基準により自己点検評価を実施した会員校の割合</p>
<p>B. 教員の質向上</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教員のキャリアラダーを評価し、見直しを行う。 2. 公衆衛生看護学の新しい内容や教育方法を取り入れ、キャリアラダーに位置付けた教員研修を体系化する。 3. 教員研修の企画・実施・評価を担当ブロックとともに行う実施体制を整備する。 4. ブロックでの交流・情報交換、教員のネットワークづくりを促進する。 5. 活動成果を教員の教育研究業績に資するよう、報告書、協会誌「保健師教育」他、多様な方法で公表し、成果を蓄積する。 <p><数値目標> 研修会参加率（参加校数） 研修会参加者満足度</p>
<p>C. 国家資格（免許）の質保証</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎年の保健師国家試験の出題内容に関する意見を取りまとめ、国に意見書を提出する。 2. 保健師国家試験の質向上に向け、現行出題基準・出題方法の点検・評価を行い、出題基準改訂に向けて国に意見書を提出する。 3. 国家試験問題作成のための研修会を実施し、教員の問題作成、クリティーク、ブラッシュアップの能力を育成する。 4. 受験環境の整備に関する調査を実施し、結果を取りまとめ、国に要望書を提出する。また、調査実施の必要性についても検討する。 <p><数値目標> 国試アンケート回収率</p>
<p>D. 社会的活動、情報発信</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. タイムリーな要望書の提出により社会への提言を行う。 2. 日本保健師連絡協議会と協働し、人材育成や国への要望を行い、国民に向けて保健師を周知する。 3. 国内外に向けて本法人の組織活動を公表する 4. 会員校間の情報共有を促進する。 <p><数値目標> 意見書・要望書の提出数（年度） メールマガジン発行回数（年度） HP 閲覧数</p>

<p>E. 効率化と発展を目指す 組織運営、及び健全な 財務</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 見直しにより変更したブロック割りやブロック活動について、組織運営の効率化と改善のための有効性等を評価する。 2. 新規校加入の促進に多方面から取り組む。 3. 会員校情報の共有と活用を推進する。 4. 収支バランスを点検し、会計チェック、監事による監査、公認会計士の助言を基に適正支出と節約に努める。 5. 研修参加費、寄付金等の収入増加を図る。 6. 事務局業務の外部委託が有効であったかを評価する。 <p><数値目標> 保健師養成機関の数に対する会員校率</p>
--	---

年度計画 2019年度～2023年度

中期目標	2019 計画	2020 計画	2021 計画	2022 計画	2023 計画	担当
A. 教育の質保証						
1. 到達度の精選と普及	・保健師教育評価の指標の改訂		・保健師教育評価の指標の普及		・保健師教育評価活用の方法の検討	教育課程委員会
2. 教育内容の充実	・指定規則改正で重視する教育内容の検討	・指定規則改正で重視する実習の進め方の検討	・演習・実習における技術教育の検討		・技術教育の普及	
3. 地域看護学教育の推進	・指定規則改正後の看護師教育課程における地域看護学教育内容の検討					
4. 質の高い教育体制の推進	・上乘せ教育の課程の推進策の検討					教育体制委員会
5. 教育評価基準の作成と普及	・指定規則改正後の教育課程を評価する基準案の検討			・指定規則改正後の教育課程評価基準の総会報告	・指定規則改正後の教育課程評価基準の普及	
6. 教育体制のモニタリング	・評価基準の検証					
B. 教員の質向上						
1. 教員のキャリアラダーの見直し	・キャリアラダーの普及活動		・キャリアラダーの見直しと改定案の検討		・キャリアラダーの改定案の作成	研修委員会
2. 教員研修の体系化	・教員研修の体系化の検討				・キャリアラダーに基づく教員研修体系構築	
3. 研修の企画・実施・評価	・新任期研修の評価	・キャリアラダーに基づく研修会の企画		・キャリアラダーに基づく研修会の評価		
4. ブロック交流・情報交換の促進	・ブロック活動の評価		・推奨されるブロック活動マニュアル作成		・ブロック活動の評価	ブロック

5. 活動成果を 業績として 公表	<ul style="list-style-type: none"> 第3巻発行 機関誌のオンライン公開の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 第4巻発行 	<ul style="list-style-type: none"> 第5巻発行 	<ul style="list-style-type: none"> 第6巻発行 	<ul style="list-style-type: none"> 第7巻発行 	編集 委員会
C. 国家資格（免許）の質保証						
1. 国家試験出 題内容に関 する意見書 の提出	<ul style="list-style-type: none"> 第106回国家試験について全国調査、集計結果の概要を厚労省に提出 	<ul style="list-style-type: none"> 第107回国試 	<ul style="list-style-type: none"> 第108回国試 	<ul style="list-style-type: none"> 第109回国試 	<ul style="list-style-type: none"> 第110回国試 	国家試験委員会
2. 国家試験出 題基準改訂 への対応			<ul style="list-style-type: none"> 現行出題基準の点検評価方法の検討（調査計画立案） 	<ul style="list-style-type: none"> 出題基準改訂に向け意見書提出 	<ul style="list-style-type: none"> 新出題基準の普及のための支援 	
3. 教員の問題 作成能力の 向上	<ul style="list-style-type: none"> 国家試験合格率の推移の分析・教員の問題作成力向上の研修会開催 					
4. 受験環境の 整備	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果の総括 要望書提出 調査実施の必要性の検討 					
D. 社会的活動・情報発信						
1. 要望書の提 出	<ul style="list-style-type: none"> 自民党看護問題小委員会ほか文部科学省、厚生労働省への要望書を提出 					三役
2. 人材育成へ の貢献	<ul style="list-style-type: none"> 日本保健師連絡協議会と協働し国民へ保健師の周知 					
3. 国内外への 活動周知	<ul style="list-style-type: none"> リニューアルHP、英語版HPの見直し 					広報・国際 委員会
4. 会員校の情 報共有	<ul style="list-style-type: none"> 全保教の略称・マークの周知・普及 ニュースレター発行 メールマガジン活用 					

5. 40周年記念事業に向けての検討	・40周年記念行事の企画立案・記念誌の編集	・40周年記念行事の実施と評価、記念誌の発行				事業運営委 40周年記念
E. 効率化と発展を目指す組織運営、及び健全な財務						
1. 組織の見直し	・役員任期の切り替え年の統一に伴う各ブロックの円滑な引き継ぎ ・会員校率の経年推移の確認					三役
2. 新規校加入の促進	・新設校の入会状況の分析 ・学校種別入会状況の推移の分析 ・未加入校への学校種別・ブロック別の働きかけ ・魅力ある活動の周知と広報 ・未加入校教員に対する会員校活動の体験機会の提供					
3. 適正支出と節約	・公認会計士との密接な連携による適正な会計処理の継続 ・安定的な収支バランスの維持					
4. 収入増加	・本法人の事業に参加する会員校教員と未加入校教員の負担額の格差に関する基準づくり ・寄付金等の積極的受け入れ					
5. 事務局業務の外部委託の評価	・委託業務内容の見直し	・事務局業務の外部委託の適切な運営のためのモニタリング	・委託業務内容の見直し	・事務局業務の外部委託の適切な運営のためのモニタリング	・委託業務内容の見直し	